【緑地を楽しむ本】

『草の根のたんけん』

おくやま　ひさし
少年写真新聞社

畑や庭で草抜きをすると、抜きやすいもの、エッと思うほどしぶとく（？） 根を張っているものがあり、面白さ半分悩ましさ半分です。 この本では、野原や土手、畑や家のまわり、雑木林や低い山、水辺や海辺の大きく4つに分けた所でみつけた草の根をたんねんにスケッチしています。

カタツムリのような丸い根のシラン。ヨウシュヤマゴボウの根は太く、12センチもあるものの写真も載っており、年輪まであります。 地上の姿はよく似ているススキとオギでも根はそれぞれ特色があり、ススキは大きな株をつくりますが、オギは横にのびて地面をはうため大きな株はつくらないようです。

紹介されている根のなかには、他の植物の成長をおさえる成分を出すものもあり、セイダカアワダチソウなどは、自分自身の発芽をじゃまることもあるとか。 植物の陣取りもなかなか熾烈ですね。

緑地の地下でもいろんな攻防があるのでしょうね。

（遠藤）